

第2580地区

東京セントラルパークロータリークラブ

The Rotary Club of Tokyo Central Park

Weekly Report

2016～2017年度スローガン

『 伝えよう！クラブの歴史と文化を 』

第26回（通算1620回）2017年1月31日



本日の例会



- | | |
|---------------------|----------------|
| 〈1〉 開会点鐘・会長挨拶 | 〈6〉 メークアップ報告 |
| 〈2〉 ロータリーソング「我等の生業」 | 〈7〉 委員会報告 |
| 〈3〉 ビジター紹介 | 〈8〉 ニコニコBOX 報告 |
| 〈4〉 幹事報告 | 〈9〉 閉会点鐘 |
| 〈5〉 出席状況報告 | |



本日の卓話



本日の卓話 「ロータリー100年とオリンピックレガシー」
地区ロータリー財団委員長・RI 第2580地区パストガバナー・東京ロータリークラブ

みずのまさと
水野正人氏

次週の卓話 〈2/6〉「保護司について」
東京都保護司会連合会会長 永見光章氏

◆◆◆ 先週の例会記録 ◆◆◆

2017年1月24日 第25回(通算1619回)
 開会点鐘 富永会長 27F「エクセレンス」
 出席 23名 欠席 9名 (免除者 2名)
 出席率 76.66% 補正出席率(1/10) 90.32%

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1. JCNN 合同例会について

日時:3月8日(水)18時30分、場所:
 ホテルカデンツア光が丘、会費:会員
 5000円・夫人 御家族 5000円、2/17
 (金)までにお申込みください。

◆◆◆ ニコニコBOX報告 ◆◆◆

榛村会員:誕生日の花、ありがとうございました。

ニコニコと。

花形会員:たんじょう日のお花ありがとうございました。
 株のふくみ損がかさんでいます。
 梶間さん卓話楽しみにしています。

深谷会員:結婚祝のお花をありがとうございます。

白石会員:梶間会員、卓話楽しみにしております。
 ニコニコと。

今週の合計 4件 18,000円
 今年度累計 717,503円

◆◆◆ 2月の例会・卓話予定 ◆◆◆

1・2日	「地区大会」
7日	「保護司について」 東京都保護司会連合会会長 元中野RC会員 永見 光章 氏
14日	「イニシエーション・スピーチ」 勝俣会員、川松会員、後藤会員
21日	合同例会振り替え例会休会日
23日	御苑RCとの合同例会(於ワシントンH) 午後7時 開会点鐘 「私の青春」 臼井 亮裕 氏
28日	「職業奉仕について」 RI 第2580地区パストガバナー 東京神田ロータリークラブ 多田 宏 氏

◆◆◆ 先週の例会より ◆◆◆



12月ニコニコ大賞の鈴木幹事

2016-17年度
 国際ロータリー第2580地区大会

大会テーマ:「出会いを大切に」

重点項目は「親睦と研修」

開催日:2017年2月1日(水)・2日(木)

会場:ホテルニューオータニ

ホスト:東京上野ロータリークラブ

● 2日目 2月2日(木)本会議

11:00~12:30 「新入会員昼食会」

13:00~17:50 「本会議」

森永卓郎氏の記念講演

18:00~20:15 「懇親会」

※ 2日(木)の本会議 登録開始は 12:00
 からとなっております。

1月
 職業奉仕月間



上野・東照宮のぼたん

◆◆◆ 先週の卓話 ◆◆◆



「2017年経済見通し」

NSBC 日興証券株式会社浜田山支店長
梶間雅子会員

日本経済はやはり世界経済との関係が非常に強いということで、まず日本の外部環境をお話しした上で国内の話をさせていただきます。

今日の話の要約は3つ。

世界経済、為替レート、日本経済。

まず世界経済につきましては 今年も2極化していくと見ています。

回復するグループということでまずアメリカ経済です。いいと思います。

それから新興国も過去2年間弱かったんですが今年も持ち直しに転じるという見方です。それから日本経済も世界の流れとともに内需を中心に良くなっていくと見ております。2点目為替レートですけど、今年も前半はちょっともたつくかもしれないですが後半にかけて123円ぐらいまで円安が進んでいくという見方です。これは企業収益にとっても株価にとっても好材料ということになります。外部環境が良くなる中で国内はどうかというと、3点目日本経済は今年も持ち直しの年になると見ています。理由は3つです。

1つは個人消費です。今年も4年ぶりに持ち直すと見ております。それから設備投資も昨年円高の中で先送りということで弱含んだわけですが今年も円高修正、円安になっておりますのでまた投資は再開されると投資の方も持ち直しということです。

更に景気対策です。昨年からの16年度補正予算1次2次3次まで決まっております。

これが切れ目ない形で景気を押し上げていくということが期待されます。ということで消費と投資という民間需要＋景気対策という公的需要が揃ってバランス良く景気を押し上げていくということです。日本経済は内需を中心に回復してくるという見方です。まず世界経済の中で非常に重要で注目度の高いアメリカ経済についてですが、アメリカの金利上昇が0.4%ぐらいと考えられますので急上昇するわけではなく、そのもとで住宅も設備投資も利鞘がプラスの状態が続くということです。個人消費も所得面・資産面がしっかり支えているということで、引き続きアメリカ経済は今年も拡大基調を維持すると考えていいと思っています。

日本経済について、2017年はデフレ脱却、インフレ時代の大きな幕開けとなります。

いよいよ失われた20年のデフレ時代からの脱却が期待されます。2017年は経済の成長、雇用の逼迫、賃金の上昇、消費拡大という良好な景気循環期への復活が期待される年になります。

失業率が1995年5月以来の水準である3%まで下がってきています。ここから景気が回復してくれば、給料が上がる、従ってデフレから脱却してくるということです。失業率と給与の間には失業率が低下すれば個人の給与は上昇するという相関性が認められています。日本の場合、失業率が3.5%を割り込む辺りから徐々に給与は上昇に転じ始め、概ね3%程度を下回ると上昇率が加速する傾向にあります。足元の失業率は3.0%まで低下しており、今後の更なる失業率低下に伴って個人の給与水準も明確に上昇し消費拡大を通じたインフレ型の景気循環期に入ると見込まれています。また失業率の低下は物価の上昇を通じて資産価値を向上させる効果も有しています。長いデフレ期を脱し良好なインフレ経済へ移行していく過程で不動産や株式の価値もいっそうの上昇が期待されます。日本も漸く20年経って、通常の資本主義経済下の適正なインフレの世界に入っていくと考えています。インフレではデフレと

は逆にお金の価値が下がり相対的に物の価値が上がる傾向が強くなります。

企業は設備投資やM&Aを通じた事業を拡大し業績が拡大、賃金が上昇し更には雇用も増加、消費が回復、株価や不動産などの資産価値が増加していく局面です。今まさにデフレからインフレに歯車が逆回転するパラダイムシフトの局面にあります。

最後に少し日本株の話を行います。

弊社では年末日経平均 22500 円と予想。

日本株というのは世界株の中でも比較的景気敏感株、つまり世界の景気が良くなる時には、他の世界の株よりよく上がるし、景気が悪化する時にはより下がるという傾向があります。つまりここから景気が世界的に良くなっていくという中では世界の株の中でも日本株は優位な動きをするのではないかと見ています。

毎度のことですが手口を見ると、日本株の上昇局面、特に初期、たいてい外国人買いで株が上がっていく、その一方で個人が売却。

上昇相場は、外国人投資家の買い、個人投資家の売り、そして散々上がった後の押し目局面になって、漸く個人投資家が買いというのがいつものパターンです。

投資部門別の売買代金シェアは今東証は7割海外投資家の売買が占めています。

個人は2割。

つまり海外投資家が買えば上がるし売れば下がるというのが実際のところ。ということは、日本株で儲けようと思ったら、この7割を占める外国人投資家が買う時に買わないと儲からない、売る時には一緒に売らないと儲からないということです。外国人投資家の動きとともに、あるいは外国人投資家の先を読んで投資していく、こういった視点が大事だと思います。

漸く日経平均 2 万円戻りつつありますが、1985 年以降の累積売買代金を見ますと、低迷した時代が長かった結果、このように売買代金は 21000 円以下のところが圧倒的で、21000 円以上はほとんど売買高がないような状況。つまり例えば 18000 円で買っていた人が 8000 円まで下がって我慢していましたが、漸く株

値が 18000 円まで戻ったとなりますと、やっと買値まで戻ったということで売りを出す話が多いと思いますが、21000 円超えますとそういう戻り待ちの売り物が途端に減ってしまうことですから、以外にこの 21000 円より上値というのは軽い、売り物がない中をぐんぐん上がっていくことは十分考えられます。明るい見通しをお伝えし今日のお話しを締めくくらせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

—事務局からのお知らせとお願い—

- * 例会欠席の場合は、前日までに事務局にご連絡下さい。

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

例会場 ハイアットリージェンシー東京

会長 富永 英久 副会長 白石 正

幹事 鈴木 一成 会報委員長 杉本 義孝

事務局 〒166-0004

東京都杉並区阿佐ヶ谷南 1-34-6 新東京会館

TEL(03)3312-4959 FAX(03)3312-4958

E-mail: info@tokyocentralpark-rc.com

<http://www.tokyocentralpark-rc.com/>